



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5660 URL <https://www.shinko-wire.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 修二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 三枝 功 (TEL) 06-6411-1051
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,551	△3.3	△239	—	△211	—	△107	—
2026年3月期第1四半期	7,809	△6.2	4	△98.5	40	△88.4	166	△4.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △173百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 130百万円(27.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△18.22	—
2026年3月期第1四半期	28.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	44,319	24,976	56.4
2026年3月期	44,582	25,386	56.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 24,976百万円 2026年3月期 25,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 当社は、株式会社神戸製鋼所との株式交換を予定しており、2026年8月28日をもって上場廃止になる予定であるため、2027年3月期の配当予想の公表を控えております。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

当社は、株式会社神戸製鋼所との株式交換を予定しており、2026年8月28日をもって上場廃止になる予定であるため、2027年3月期の通期連結業績予想の公表を控えております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 — 社(社名) 、除外 1 社(社名) 尾上ロープ加工株式会社
当社の連結子会社であった尾上ロープ加工株式会社は、2026年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	5,912,999株	2026年3月期	5,912,999株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,335株	2026年3月期	3,330株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	5,909,666株	2026年3月期1Q	5,909,857株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

当社は、株式会社神戸製鋼所との株式交換を予定しており、2026年8月28日をもって上場廃止になる予定であるため、2027年3月期の通期連結業績予想の公表を控えております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、中東情勢の影響を引き続き注視する必要があります。当社グループを取り巻く事業環境においても、国際情勢をめぐる地政学リスクの継続、人件費をはじめとした諸コストの上昇等、不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループでは、諸コストの上昇に対する販売価格改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めましたが、厳しい事業環境の継続による販売数量の減少や諸コストの上昇等により、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は7,551百万円と前年同期に比べ257百万円の減収、営業損失、経常損失はそれぞれ239百万円（前年同期は4百万円の利益）、211百万円（前年同期は40百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は107百万円（前年同期は166百万円の利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

（P C関連製品）主力の土木橋梁分野において、新設案件および補修補強案件の双方の発注が減少する厳しい事業環境の継続に加え、民間建築分野においても、住宅着工件数の減少や、労働力不足や諸コストの上昇等に伴う工事遅れの影響等により、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

（ばね・特殊線関連製品）主力の自動車分野における販売数量は、中国における日系自動車メーカーの販売不振の継続等により、前年同期に比べ減少しました。また、プリンター分野においても、プリンターメーカーの販売不振および在庫調整の継続等により、前年同期に比べ減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の販売数量は前年同期に比べ減少し、売上高は4,201百万円と前年同期に比べ345百万円の減収となり、営業損失は82百万円（前年同期は25百万円の利益）となりました。

<鋼索関連事業>

各業界の労働力不足や諸コストの上昇影響等により、需要は依然として低水準で推移しており、販売数量は前年同期に比べ減少しました。その結果、売上高は2,987百万円と前年同期に比べ87百万円の減収となり、営業損失は36百万円（前年同期は73百万円の利益）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

大型橋梁案件の納入開始等により、売上高は346百万円と前年同期に比べ175百万円の増収となったものの、諸コストの上昇に加え、前年同期は大型橋梁案件の先行生産に伴う在庫増加の影響があったこと等により、営業損失は134百万円（前年同期は107百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ15百万円、12百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、262百万円減少の44,319百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少、電子記録債権の増加によるものです。

負債は、147百万円増加の19,343百万円となりました。これは主として未払費用の増加によるものです。

純資産は、410百万円減少の24,976百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は56.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、株式会社神戸製鋼所との株式交換を予定しており、2026年8月28日をもって上場廃止になる予定であるため、2027年3月期の通期連結業績予想の公表を控えさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,803	2,172
受取手形	87	69
売掛金	4,451	3,844
電子記録債権	4,260	4,704
商品及び製品	4,998	5,371
仕掛品	4,297	4,274
原材料及び貯蔵品	2,439	2,232
その他	801	874
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,138	23,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,815	2,791
機械装置及び運搬具（純額）	5,340	5,353
工具、器具及び備品（純額）	103	114
土地	5,904	5,904
リース資産（純額）	7	7
建設仮勘定	335	446
有形固定資産合計	14,506	14,617
無形固定資産	268	258
投資その他の資産		
投資有価証券	1,766	1,778
繰延税金資産	271	488
退職給付に係る資産	3,458	3,462
その他	197	197
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	5,668	5,900
固定資産合計	20,444	20,777
資産合計	44,582	44,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,500	2,725
短期借入金	5,504	5,504
リース債務	1	1
未払費用	1,110	1,495
未払法人税等	164	37
契約負債	18	31
賞与引当金	613	258
災害損失引当金	9	7
その他	571	706
流動負債合計	10,494	10,768
固定負債		
長期借入金	4,772	4,610
リース債務	6	5
環境対策引当金	10	10
退職給付に係る負債	3,757	3,803
その他	154	144
固定負債合計	8,701	8,575
負債合計	19,195	19,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,164	8,164
利益剰余金	6,236	5,892
自己株式	△4	△4
株主資本合計	22,459	22,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	550	535
為替換算調整勘定	229	252
退職給付に係る調整累計額	2,146	2,072
その他の包括利益累計額合計	2,926	2,860
純資産合計	25,386	24,976
負債純資産合計	44,582	44,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,809	7,551
売上原価	6,531	6,490
売上総利益	1,277	1,060
販売費及び一般管理費	1,273	1,300
営業利益又は営業損失(△)	4	△239
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	39	41
持分法による投資利益	11	19
固定資産賃貸料	10	10
その他	5	3
営業外収益合計	81	86
営業外費用		
支払利息	24	31
出向者負担金	4	5
固定資産廃棄損	5	11
その他	10	9
営業外費用合計	44	57
経常利益又は経常損失(△)	40	△211
特別利益		
負ののれん発生益	※1 353	-
特別利益合計	353	-
特別損失		
段階取得に係る差損	※1 203	-
株式交換関連費用	-	※2 62
特別損失合計	203	62
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	191	△274
法人税、住民税及び事業税	14	5
法人税等調整額	9	△171
法人税等合計	24	△166
四半期純利益又は四半期純損失(△)	166	△107
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	166	△107

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	166	△107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△15
為替換算調整勘定	△0	8
退職給付に係る調整額	△52	△73
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	14
その他の包括利益合計	△35	△66
四半期包括利益	130	△173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130	△173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 負ののれん発生益、段階取得に係る差損

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社は、持分法適用関連会社であるファイベックス㈱について株式を追加取得し2025年4月1日に完全子会社化いたしました。この子会社化に伴い、負ののれん発生益、段階取得による差損を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

該当事項はありません。

※2 株式交換関連費用

当社は、株式会社神戸製鋼所との株式交換に伴い発生した関連費用62百万円を株式交換関連費用として計上しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニア リング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,547	3,075	171	7,793	15	7,809	—	7,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	131	41	0	173	—	173	△173	—
計	4,678	3,116	171	7,967	15	7,982	△173	7,809
セグメント損益	25	73	△107	△8	12	4	—	4

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

特殊鋼線関連事業において、ファイベックス㈱の株式を追加取得し子会社化したことに伴い、負ののれん発生益353百万円を特別利益に計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニア リング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,201	2,987	346	7,536	15	7,551	—	7,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	256	26	0	283	—	283	△283	—
計	4,457	3,014	347	7,820	15	7,835	△283	7,551
セグメント損益	△82	△36	△134	△252	12	△239	—	△239

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	253百万円	297百万円